

礼 拝 順 序

前奏	奏		司 式
招詞	詞	詩編100:1-5	奏 楽
讃詠	詠	555	
交読詩編	詩編	118:22-29	
美歌	歌	試用版174	
聖書	書	旧約 イザヤ 49:1-9 (p.1142 or 1322) 新約 コリント二 6:1-13 (p.331 or 384)	
祈讃	禱 美 歌	211	
説教	教	「恵みの時」	秋吉隆雄牧師
祈讃	禱 美 歌	280	
奉獻	献	(献金・祈禱)	
主の祈	祈	(564)	
頌祝	栄 禱	542	
後奏	奏		
報告	告		
讃美歌練習		試用版168	

月 日	司式	奏楽	礼 拝	受 付	献 金	聖餐当番
4/30						
5/ 7						
5/ 5	掃					
5/12	除					

一次週礼拝
 説教 「生ける神の神祕」
 聖書 出エジ29:38-46
 コリント二6:14-7:1

讃美歌 試用版168
 355 205
 交読詩編118:22-29

一本日の集會
 求道者会 礼拝後 於 談話室
 初めて教会に見えた方、求道者
 (洗礼を受けておられない方)は
 お集まりください。
 青年会例会
 ビデオ鑑賞会をいたします。

今週の集會
 祈 禱 会
 6日(土) 午後7時半
 - 公 告 -

5月21日(日)礼拝後、第
 36回定期教会総会をいたしま
 す。教会員は必ずご出席くださ
 い。どうしても出席できない方は
 委任状をご提出ください。

主な議題
 1. 牧師、集會、教勢報告
 2. 役員会、各委員会報告
 3. 階段昇降機購入に関して

報告とお願い
 教会バザーにご協力を有難うご
 ざいました。詳しい報告を近日中
 にいたします。
 次主日礼拝後、定例役員会をい
 たします。
 各委員会は教会総会報告資料を
 本日中に牧師までご提出くださ
 い。

集會状況

	男	女	計
壮年会例会4/22	8	2	10
主日礼拝4/23	29	70	99
教会学校 子供4/23	6	27	33
大人4/23	8	13	21
成人科4/23	0	2	2

牧師室から
 キリスト新聞が、戦後50年に
 あたり、日本の教会は戦時下に
 どのような状況に置かれ、戦後
 どのように歩んできたかを検証し
 ようと5回シリーズで特別インタ

ビューの掲載を始めた。

初回は井上良雄先生が「教会の戦後を問う」と題して語っておられる。カール・バルトの翻訳、ブルームハルト父子の紹介、そして素晴らしい説教集などを出しておられる。先生の信仰と人柄と仕事の誠実さは全ての人に尊敬されている。

日本の教会は70年代以降、教会派（福音派）と社会派に分れ不毛な対立と抗争を繰り返してきた。先生は両者に教団の未来はない、戦前、戦中に教会が犯した罪に対する「悔い改め」から再出発しなければならないと力説しておられる。戦争中、教団は太平洋戦争を「聖戦」と位置づけ全面的に協力し、更に植民地下のアジアのクリスチャンをもその聖戦に駆り立てた。戦後、キリスト教ブームに浮かされ、罪責告白を置き去りにした。教団は1967年に鈴木正久議長の名前で「第二次大戦下における日本基督教団の責任についての告白」（以下、戦責告白）を出した。先生は戦責告白を前進であったと評価しておられるが、不十分であると指摘される。

戦責告白は「預言者的な奉仕を果たせなかった」と告白しているが、教会は何よりモーセの第一戒「あなたは、わたしをおいてほかに神があってはならない」を犯した。国家は国民儀礼であるとの名目で教会にも天皇を拜ませたが、これは偶像礼拝にほかならない。大きな罪を犯したと指摘される。又教団成立について、弱さと過ちを認めつつも「摂理」という言葉で表現されている。「摂理」は犯した罪をそのまま安易に肯定する言葉として受け取られる。先生は「私たちが語らなければならない言葉は悔い改めの言葉以外にはないでしょう。」と語っておられる。戦後50年を迎え、教団は戦責告白を完全なものに改訂し、それにふさわしい歩みを始める必要がある。そこに立つ時のみ、教会派も社会派も、等しく神の前に罪を犯した者としてひとつになることができる、と結んでおられる。

明治学院大学が戦争責任告白を出すと聞いている。戦責告白は明日の平和実現への決意表明である。聖書は常に平和を作り出す言葉と決意の悔い改めを促す。

週 報

1995年4月30日 復活節第3主日

労働聖日（働く人の日）

巻16

5号

1995年度教会主題

「恵みに生きる」

聖句 すると主は、「わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」と言われました。

コリントの信徒への手紙 二 12章9節a

- 目標
1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
 2. 一人一人が伝道と奉仕を。

日本キリスト教団

横浜港南台教会

F233 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29

電 話 045-833-5323

ファックス 045-833-6616

振 替 00290-4-1399

牧 師 秋 吉 隆 雄